2012年7月21日

価 1部140円(本体133円**干**共200円) 1年分 **〒**共 紙代のみ 5,000円 3,500 ⊞ 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。 教会の購読料は負担金に含みます

発行所日本基督教団

169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話 03(3202)0546 FAX03(3207)3918

発 行 人 内 藤 留 幸 編集主筆 竹 澤 知 代 志 印 刷 所 株式会社きかんし 留 幸 澤知代志



准允志願者 5 名 -人ひとりに所信を聞く

は今回も未選出。それなり た。けれども沖縄教区だけ

ることが望ましいし、今後 教団ルート一本に絞ってす

思う。

もその線で協力していきた

餐式を執行した教区があっ

教区総会の開会礼拝で聖

回教団総会議員が選出され

熱心だった教区もいくつか 自に救援活動をすることに

あったが、募金に関しては

各教区総会において第38

が、教団に属する教区であ の言い分があるのであろう

異なった意見であっても

被災教区の教会や地域の

教団信仰告白を唱和し、

常陸大宮伝道所開設を可決

いと思う。

点をいくつか記しておきた すると共に、気づかされた まず導きたもうた主に感謝 区の総会をふりかえって、 って終了した。いま、17教

の教団の取り組みをめぐっ 東日本大震災救援について る。多少の差異はあったが

て話し合いがなされた。独

2012 年度

神奈川

都 京

各教区総会を終えて

神奈川教区

第128回

教団総会へ

﨑隆議長は、教団の正規の がなされた。被選挙権はあ でもあるので推薦議員とし 議論を積み重ねて来たこと 手続きに従い教師正議員と て、議員とすることは教区 ないかとの意見が述べら 規則に違反しているのでは 推薦議員の議員資格につい して扱うことはしなかっ 冒頭、組織前に北村慈郎 選挙時にも同趣旨の質疑 説明が求められた。岩

各教区総会を終えて

教団総幹事

内藤留

と、出席率が高かった。 教会を会場に開催された。 会が、6月30日、清水ヶ丘 教団総会予備投票時には正 議員236名中201名 教会」設立について、小泉 る承認を得た上で、一人ひ 到る経緯が説明され、祝福 健主任担任教師から設立に 認し、その後直ちに准允式 崎議長が、

通例のごとく、 る件では、5名の志願者が が執行された。 第二種教会「センター北

の拍手のもとに、承認され

とり個別にはかり執行を承 とまでは言えない」と認め 人ひとり所信を述べ、岩 教団教師検定試験は不当 補教師の准允執行に関す ないと答えた。

が述べられた。 明として、神奈川教区から 岡本知之教団問安使の挨

の各条項を上げて、受洗者 きは間違っていない旨説明 35, 136, 13812 餐を禁止する条文はないと 不当とする意見には、手続 いう意見には、教規10、1 がなされ、また、フリー聖

のみが聖餐に与るべきこと が寄せられたことへの感謝 2、700万円の東日本大 震災復興救援のための献金 教団総会時の議案整理を

議長挨拶の追加説 余裕はないまま採決とな 迫っており、あまり議論の り、この時点で閉会時間が た。選挙の際に投票事務に は無意味だとの反論もあっ が述べられた。議論を否定 多数決で決する前に十分な する場を教団内に設置する 不手際があったこともあ か、それなのに議論するの 議案を提出する件」では、 ついて慎重かつ十分に論議 して執行したのではない 議論が必要だとの提案理由

神奈川教区上中栄総会副議

字野信二郎(横浜大岡)、寺

仁(蒔田)、森研四郎(鎌倉)、

崎)、中林克彦(鎌倉雪ノ小川町)、小川信順(茅ヶ

田信一(横須賀小川町)、平

字町)、塚本智子(横浜指 下)、杉森耀子 (小田原十

佐竹博 (辻堂)、伊東永子 路)、谷口尚弘(紅葉坂)、

(翠ヶ丘)、公文照子 (厚

良愛香(三・一)、須田拓(橋

尚、日本ホーリネス教団

長、在日大韓基督教会横浜

戒規·免職反対関連決議3件

教団総会に聖餐のあり方に 「第38回(合同後23回) あり、この提案理由そのも 刻みの時間延長の中で採決 対意見が述べられた。15分 のに事実誤認があるとの反 可否は議長が下した判断で のであって、議案としての 議長に対して見解を述べた の提案理由が述べられた。 議してはならないとの主旨 議案整理委員会は教団総会 する件」では、

果

168中9名の賛成で

取ることが出来ず採決の結

可決された。

掛順一 (横浜指路)、古谷正

教団総会の場で正々堂々発 | 望を与えることを祈りなが

る主キリストの福音を力強 る教団』との石橋秀雄教団 ら救援の努力を継続してい く語り続けねばならないと 総会議長の言葉どおり、す ではあるが『伝道に熱くな 向は否めない。厳しい時代 れに伴い財政面でも縮小傾 べての人に真の救いを与え 止めがかかっていない。そ 各教区の教勢の減退は歯 の処置に対し希望を訴える のとし、請願は、教務機関 いて、建設的提言をするも教団の教務または行為につ あっても誹謗・中傷めいた 細則第4条の2に「建議は 発言は慎みたい。教規施行 のである。しかし、どこま でも建設的であってほし れる雰囲気はすばらしいも 。たとえ熱心のあまりで

に伝道していく喜びを覚え 教憲・教規を守りながら共 う酒をいただいた。同席し ていた私は同じ信仰告白と

> く新庄教会が誕生したと の備えを経て合同し、新し

> > <

大きい。教区全体が合

で示唆していることは深

体の伝道を展開していく上

新庄本町教会)が長い祈り

誕生を東北教区総会が可決 と。特に新しい新庄教会の

したことは、今後の日本全

はないかと思う。

たことが大切なポイントで 同した新教会を理解し支え

閣達に異なる

意見が交わさ 教会会議であるから自由

第38回 (合同後23回) ンター北教会設立(神奈川 たこと(西東京教区)、セ 立川開拓伝道推進を可決し 【教職】 岩﨑隆 (六ツ川)、藤

名の賛成で可決された。 が行われ、169中104

間をとって、丁寧な来賓挨

博(新丸子)、池迫直人(藤沢 宗野鏡子(田園江田)、高橋 本)、森田裕明(横浜本牧)、

大庭)、尾毛佳靖子(戸塚)

橋)、佐々木雅子(鎌倉恩 木上)、坂井美智子(六角

寵)、内田眞一郎(横浜明星)

(新報編集部報)

/下)、都筑正顕 (横須賀 【信徒】望月克仁(鎌倉雪 者佐藤真史氏から、十分時 区被災者支援センター専従 教会李明忠牧師及び東北教

拶・説明を受けた。

教団総会議員選挙結果

教区)、山形県(山形北地区) (新庄教会•新庄新生教会•

教区を皮切りに始まった2

言するのが本筋ではない

か。

4月末の北海教区、四国

6月30日の神奈川教区をも 012年度の各教区総会は

各教区内の議員たちとの貴

教区総会は教団問安使と

重な話し合いの機会であ

大切にしたいものである。 ものとする」とある精神を 終わりに私が励まされた 教団問安使を 神奈川

うことを求める議案を提出 教団総会に教区総会で決議 事前整理なく議案として扱 成で可決された。 して出した教団総会議案を 「第38回 (合同後23回)

を審議すべきで、内容を審 員会は形態が整っているか られた。討論の時間は殆ど などが提案理由として上げ

を提出する件」では、戒規 議案の決議に抵触すること と、第36回教団総会第44号 施行細則に違反すること、 教規第71条⑤に抵触するこ 教団総会に北村慈郎教師の 『免職』撤回を求める議案

共に祈り、支えよう!

「東日本大震災救援募金のお願い」

教会の再建・補修、地域の復興・支援 に向けての具体的な取り組みを日本基 督教団として支援していくため、祈り と共に**「東日本大震災救援募金」**にご 協力を下さいますよう、お願い申し上 げます。

記 目標額期間 10 億円 (国内のみ) 間 2011.7.1 ~ 2015.3.31 期 振替番号 00110-6-639331 加入者名 日本基督教団東日本大震災: 救援募金

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31 2012年7月 教団救援対策本部長 石橋秀雄:

受け入れず 教団新報取材もかなわず

き、陪席も傍聴も許可され ず「応接室」に案内され、 会を訪れたものの、会場の なかった。やむを得ず、公 ついては、昨年度に引き続 礼拝堂に入ることが許され 表された選挙結果のみを以 が出来なかった。 総会にも礼拝にも与ること 団総会議長は、当日会場教 また、教団新報の取材に 教団総会議員選挙結果 教団問安使の石橋秀雄教

(水口)、押本年眞(常置

置委員会推薦)、西井義(近愛員会推薦)、中井正子(常

上信(八日市)、谷村德幸社)、韓守信(長岡京)、川江金田)、望月修治(同志 治彦(京都)、横田明典(近 (水口)、山田真理 【教職】井上勇一(洛南)、入 (上鳥

日~4日、京都丸太町教会 京都教区総会が、5月3

を会場に開催された。

幡ぶどうの木)、造田弘司 上穣(錦林)、平田眞貴子 羽)、大澤宣(紫野) 【信徒】原田潔(大津東)、川 (平安)、谷口ひとみ (八

新報編集部報)

」したこと、「原発事故に起

崎堤伝道所、津久見教会、

円を、また残りを震災対策

012」 に合流し、その後 「教会中高生・青年大会2

会について、これは教育委

先述した宣教師との懇談

また、東北教区からは岩

された。天白伝道所、くま

どもたちを覚えて用いて貰

で出迎えをし、21日から22 となっている。今回は関西

定。その広告を出すことを

センターを会場に開催予

(金) に大阪クリスチャン

関東の3つの被災教区に子 決定に従って、奥羽、東北、

> 湾からの青年を迎えること 月18日から24日の日程で台 ョンの詳細も検討した。8

> > 試験は2013年3月8日

された。第5回委員会での

スマス献金の最終報告がな

また2011年度のクリ

教

報

在日大韓基督教会との宣教協力委員会 宣教課題と宣教協力を主題に

員会が、「両教会の宣教課題 46回在日大韓基督教会と日 ェルシティ湯河原にて、第 伝道を巡ってー」のテーマ 在日大韓基督教会から 6月4~5日、ニューウ

美書記、内藤留幸総幹事、 る金鐘賢牧師(浪速教会) 带特設委員長·歷史共同研 洪性完総幹事·歷史共同研 泳石幹事、許伯基幹事、そ 金健歴史共同研究委員、曺 究委員、崔栄信宣教委員長、 副総会長、朴太元副書記、 して、2日目の発題者であ また、日本基督教団から 金武士総会長、趙重來 石橋秀雄議長、雲然俊 ること等、両教会の宣教協 こと、伝道協力においては ニズムではなくキリストの で使徒的な精神」の探求が 牧師・信徒には「預言者的 現代日本において、教会・ 教による開会礼拝の後、近 信仰告白的一致が重要であ 在の信仰が求められている 求められており、ヒューマ 藤氏が「現代日本における 信仰と復活のキリストの臨 伝道をめぐって」と題し、 贖罪論的な御業についての

5月31日、教団会議室に

最初に5月30日現在での

関東教区からは、5月に韓

されていること、そして、

月29日~8月4日。大阪に

4回こひつじキャンプ(7

審議事項においては、第一した。

ほか、ハートフル遠野UC

て)の実施支援を決定した

CJの今後の活動について

進めてほしいとの要望が出 室 (仮称)」 設置の検討を

したことなどが報告され

は、今年度末までを一応の

目安とすることなどを協議

団と一緒に被災教会を訪問 国基督教長老会からの訪問

者である近藤勝彦東京神学 高田輝樹職員、宮本恩恵職 誠幹事、大三島義孝幹事、 員、そして、1日目の発題 1日目は、石橋議長の説 705円と報告された。 の献金は2億1、044万 回会議を開催した。 て、教団救援対策本部第12 99万316円、海外から 国内募金総額が3億6、9

た。 報告として、仙台エマオの 金趣意書の報告がなされ 活動報告、各部署の会計報 ボランティア登録者数等の 続いて、救援対策室会議 各被災教区からの報告と および海外教会向け募 会議室にて37総会期第6回

教会学校応援セット送付先を訪問

6月11日から12日、教団

聞いた。

覚えている諸教会の様子を

復興を念頭に献金先を計画 スマス献金も、震災からの

なお2012年度のクリ

していくこととした。

2012年ユースミッシ

通して教団とのつながりを れ、教会学校応援セットを

と、千厩教会では会堂・牧 古教会が礼拝堂の応急処置 りを検討中であることなど 師館建築に向けての資金繰 として床の張替えをしたこ して、奥羽教区からは、宮 された。 応援セットを送付した教会 今回は両日の間、11日の晩 教育委員会が開催された。 に宣教師との懇談会も開催 伝道所への訪問報告がな 委員会ではまず教会学校

初日発題者の近藤勝彦東京神学大学長 (前列左から4人目)を囲んで

文歴史共同研究委員、加藤 究委員、張田真宣教委員長· 歴史共同研究委員、佐藤飛 告がなされた。 東日本大震災支援活動の報 て語られた。 その後、両教会における

宿生活者 (ホームレス) と 共に歩んだ浪速教会の宣教 2日目は、金鐘賢氏が「野 を経験しながらも、野宿生

力の共通基盤と目的につい | 活動」と題し、最初は釜ヶ の家」の活動を開始したこ め、1997年から、日本 社会で捨てられた人々に仕 と、以来、さまざまな困難 える牧会の働きとして「愛 崎で韓国人労働者伝道を始

同は大きな励ましを与えら 来た歩みと現状、そして今

活者と共に教会を形成して

の継続の確認等を協議し、 礼拝をもって終了した。 ジ」の確定、 その他、「平和メッセー



2日目発題者の 金鐘賢氏(在日大韓基督 教会浪速教会牧師)

▼日帰り温

満と後悔で夫婦喧嘩にな

時に熱く話され、出席者一 後の展望について、静かに、

金総会長の説教による閉会 歴史共同研究

綱」に従い、支援希望額の 5%を支援することを決定

人の建物等の復旧のために

復旧再建支援いよいよ具体的に

教団救援対策本部第12回会議

遣すること、これまで陪席 こと、北海教区における震 災関係報告集会に委員を派 を常任常議員会に提案する 嶋田順好教師を充てること か、田中弘志委員の後任に 援依頼について協議したほ その他、海外教会への支

教会(同187万5、500 再建支援に関して関東教区 182万円)、水戸自由ヶ丘 5、100円)、益子教会(同 会(支援希望額1、517万 から出された、桐生東部教 続いて、教会堂・牧師館

円)への支援要請について、 「被災教会支援金配分要 すること、被災した宗教法 長を救援対策本部の委員と

ての情報を被災教区に提供 することなどを話し合っ 化庁文化部宗務課)につい 金」の対象とする措置(文

ととした。 教団会議室にて開催するこ 次回会議は、6月29日に (雲然俊美報)

腕組みして考え込む場面も多々

であった被災3教区の各議

第6回教育委員会 東京でのプログラムを経て 備、検討課題などを詰めて てている。さらに詳細な準 帰国する一週間の計画を立 いくことが確認された。 キリスト教教育主事認定 ネル氏より発題。ギャップ とブロックというキーワー リス女学院・横浜グリーン そこにある声を聞きたいと ハウスのネイサン・ブラウ 加者は7名。 はじめにフェ ため今回に延期された。参 る予定であったが、台風の 当初は昨年9月に開催され はじめられたものである。 員会として宣教師の働きと

果たすべき役割について、 参加者からも日本の教会の



2012年ユースミッションの詳細を検討する

ると、駅員が言う。「その 温泉宿は、広告とは大違 旅を満喫出来た。バスに 席だと、せっかくの景色 けて来る。▼何か手違い 電車に乗り込み、話しか 切符売りの初老の駅員が 席に座った。間もなく、 乗り換えて着いた日帰り 堪能することが出来た。 い」。勿論、直ぐに席を替 が見えません。空席があ でもあったかと訝ってい 食はなんと自販機のあん はるばるやって来て、昼 昼をいただく店もない。 いで、みすぼらしいほど えた。そうして、箱根を りますから移って下さ に小さく、近くには、お にせいか、その日の短い ・出だしでご機嫌になっ ▼常だったら、不 を求め、乗 と。特急券 車口に近い た時のこ 泉に出掛け るなら、きっと必ずや。 える。私たちにも、教会 を誇りに思う気持ちがあ 論だが、何より箱根を誇 っきりなしに食べる。常 ビス精神が有ったのは勿 降りたかも知れない。▼ べる。そして、おせんべ さい。とにかく良くしゃ 楽しんだ。▼復路では、 しかし、駅員から貰った っていたかも知れない。 りに思っていたのだと考 話、噂話も興味深くなり、 思うことにしたら、世間 嘆いたと思う。次の駅で ならば、我が身の不運を いやらおつまみやらをひ ご婦人たちと隣席。うる 70歳代の、同級会帰りの とにした。結果、十分に かも知れない、と思うこ 客がない分だけラッキー 心の余裕がある。宿は粗 まった。▼駅員にはサー むしろ聞き耳を立ててし 末でも、お湯は同じ、相 かし、楽しそうだなと

常議員会からの修正意見を受け入れ

部落解放センター規約変更へ

朗読にはじまった今委員会

することが了承された。

2011年度の活動献

会計決算、会計監査報

ついては、第3総会期第1 委員会、みなおし委員会に

回運営委員会までを任期と

割」「全国水平社宣言」の 放センター運営委員の役 れた。出席者は陪席者をあ

において第6回部落解放セ

ター運営委員会が開催さ

告がなされたが、全国会議

年度)は九州教区で行うこ 次回キャラバン (2013

今委員会でも充実した報

については報告と共に振り

返りが行われた。常任運営

に引き続き、6月13日(水)

あるとの力強いメッセージ

ぞという時には動く必要が

が語られた。

わせ延べ27名。

開会礼拝のあと、「部落解

回部落解放センター運営委員会

理論のための内部学習会が

われた。全国会議での基

昨年度の活動献金は目標額 告がそれぞれ承認された。 谷誠運営委員長による解放 では、報告や議事の他に東

内容で、センターは部落差 調報告をさらに踏み込んだ

念に堪えない。また、今井

更が承認された。解放劇の

それに伴い、

(3)

教

第 12 わたし 口 の中の差別・被差別、~来て、見て、知って、解放へ 部 全国 報 告

教団東梅田教会を主会場として参加者200名で開催する事ができました。 知って、解放へ〜)」を2012年6月11日(月)〜13日(水)に日本基督 神様の導きを感謝します 第12回部落解放全国会議 (わたしの中の差別・被差別、 ~来て、見て、



東梅田教会を会場として、参加者 200 名

議となったかる」ことを感じる全国会「差別は現場で起きてい

全国会議実行委員長・ 八阪教区総会議長

気持ちでいっぱいです。 名近くの仲間が解放センタ 所3周年の年に、沖縄から 北海道まで全国から200 全国会議を開催できたと 今回の準備を進めるにあ 教団部落解放センター開

史に加え、現在の取り組み 史、その差別との闘いの歴 も含めて豊かに学ぶことが たものとなりました。一つ いう意見が出るほど充実し 間を入れて8時間取りま にが、それでも「短い」と -クでした。 振り返りの時 つの現場にある差別の歴

様々な違いを認めないで自 ます。差別の現実として、 存在ばかりではなく命すら し、攻撃する言動が、今日 も脅かしていることを知り とで懸命に生きている人の 分たちと異なる人々を排除 わたしたちは、差別が、そ

は、2日目のフィールドワたって大切だと考えたこと されようとしています。 の現場では、人権や平和を ればならないのは、「在特 大阪市長によって押しつぶ 守ろうとする働きが橋下徹 大阪市内で訪れたいくつか 事件が起こりました。また、 れをインターネットに流す 会員が差別発言を行い、そ わたしたちが注意しなけ

現場を訪れることにより

できました。

う現実です。その背後には、 市長の支持率が今なお70パ 社会全体を覆う閉塞感、不 らにそれを支持する多くの 垂れ流されていること、さ 人々がいること、また橋下 ーセントを超えているとい

ることが確認された。また 確認され、継続して準備す 運営委員会からの要望が再 安感があると考えられま の変更も行った。

執行部から修正意見が出さ ついて、変更案に対して常 落解放センター規約改正に 常議員会で継続審議中の部 とが承認された。 い議論が交わされたが、次 れた。賛否両論があり激し 議員会から委託された教団 長年に渡って検討され、

(多田玲一報)



お心に堅くし、それぞれの ら感謝したい。次回は2月 支えられてきたことを心か 現場へと派遣された。今総 て閉会し、解放の思いをな 教団会議室で開催の予定。 12日 (火) 9時から東京の 会期も部落解放センターが 委員会は派遣礼拝によっ 0

部落解放センター活動委

が大阪で開催された。前回 や基地を地方に押しつけて の東京に続き、大都会での 全国会議であったが、原発 いる構造そのものが差別で 第12回部落解放全国会議

別言動がインターネットで 会」の、目をそらし耳を塞 ぎたくなるような露骨な差 差別」を謙虚に見つめ、問 ぞれの現場へと遣わされて 会い、思いも新たに、それ 学び、差別と闘う仲間と出 ちの今後の取り組みにおい 与えられる」は、わたした 調した「方針は、現実から の現状、具体的な解放運動 す。「世の光」である主イ 回、この全国会議で現場に ばならない視点です。 かったことは残念でした。 続けてまいりましょう。 いながら続けられるもので いきます。この営みは、常 て、大切にしていかなけれ について十分に触れられな にもかかわらず、講師が強 わたしたちは、2年に1 「わたしの中の差別・被 「闇」に打ち勝つ歩みを 会議において、

木千鶴子 と、心からの叫びを吐露さ ら、牧師たち、その願いを 受け止めて祈ってくれよ がなくなるように祈ってほ 別されている信徒が「差別 しい」と頼んでいるのだか

り組みは教会の使命であ 落差別がなくなるための取 が生まれる現実をあげ、部 よってはむしろ差別する人 さらに、聖書の読み方に きたいとあらためて思わさ の仲間たちと共に、これか らの解放を心から願う多く

聖光学院高校

辞(教)新井

就(主)武 谷子

辞(兼担)工藤尚子 辞(担)渡辺圭一郎

辞(代)野本真也

就(主)野本真也

就(主)明石義信

京都丸太町

辞(主)武 公子

浜坂 西宮

就(担)西川專一辞(担)齋藤 開

ることを思う。部落差別か

就(代)西八條敬洪

辞(主)江口 充

就(神)土井健司辞(神)加藤善治

いか、検証しなければなり い隠そうとする一闇」がな ととによって自分たちの中 わたしたちの心の中や教会 す。このことを考えるとき、 った。

ない市民の会」(在特会)

ません。

に対して「在日特権を許さ

クで訪れた水平社博物館 たとえば、フィールドワ なお行われています

た。その意味では、記念講 切だと、今回強く感じまし 演でーレジュメに書かれて いながら一大阪の部落差別 て、見て、知る」ことが大 そのためにも、現場に「来 ほしいと願っていた。 を与えられるときであって 会いの中で少しでも気づき 脅かされている人たちがい 会議が、自分とは考えや立 かもあからさまに進行して 差別がいたるところで、 ることに気づこうともしな 除していく冷たさ、目の前 場が違う人たちを平気で排 があるだろう。今回の全国 大事にしない」ということ た。その根底には「人間を い想像力のなさなどに、出 いる現実の一端が紹介され 今大阪で様々な人権侵害、 に人権を踏みにじられ、 実行委員長の挨拶では、

> 年阿倍野教会に赴任、11年 志社大学神学部を卒業、同

辞(担)阿部倫太郎

就(主)尹 成奎

香里

辞(主)吉本幸嗣

辞(担)吉本紀子

大阪府に生まれる。 18年同 12年4月29日逝去、62歳。

遺族は妻・杉本美由紀さん まで淀川教会を牧会した。

事務局報

岸和田

辞(代)市川忠彦

就(主)吉本幸嗣

就(主)三ツ本武仁

東和歌山

辞(代)清藤 就(担)吉本紀子

就(主)阿部倫太郎

//

落解放祈りの日」には、差 自らをさらけ出して解放運 を語られた。そして、「部 つつ解放運動への熱い思い た自分のことをさらけ出し たことを話され、自身もま 動をしている姿に心打たれ 先輩たちが 志を受け継ぎつつ、今があ 動をしてこられた先輩方の をみんなで採択した。 り出すようにとの「声明」 え、対話し、深めていただ くに違いない。 物館の補助金を、今まで通 橋下市長の横暴によって存 きたいと願う。全体会の後、 これからの生活の中で考 が足りなかった。参加者が、 続の危機にある大阪人権博 分科会、全体会も、時間 長く先頭にたって解放運

緊張感の中での開催でもあ まできているという期待と 再審が、もう一息のところ であった。また狭山事件の あることを覚えつつの開催 部落解放センターは、他の と訴えた。そして最後に、 会の大事な働きではないか ら、日本基督教団の中で預 反差別の運動と連帯しなが

自分が初めて参加した全国 運営委員長は基調講演で、 東谷誠部落解放センター 思いは、参加者の心に届い 深めていくことができなか せられた。講師の講演内容 合いたいと願いつつも、一 ければならないと結ばれ った。世代間のギャップ、 ついて意見を交わし合い、 見が表明されたが、それに 意見、決意を十分に分かち たに違いない。 別をなくしたいという熱い 言者的な働きをしていかな に参加者から鋭い疑問、 日目から時間不足を感じさ た。東谷運営委員長の、差 今回も、参加者の感想や

そ高められ、深められてい 経験の違い、立場の違い、 開いて謙遜に聞きあい、話 思いの違いは、互いに心を し合うという対話の中でこ 矢板 福島伊達 辞(兼主)的場惠美子 辞(主)的場惠美子 辞(兼担)山本真司 辞(主)宮﨑 就(代)望月 修 就(主)今泉信宏 辞(代)平山正道 辞(主)大下正人 就(代)山本真司 辞(主)明石義信 就(主)大宮克己 辞(担)大宮克己 就(主)大下正人 吐 東田郷田

四谷新生 辞(主)小林 護 就(主)的場惠美子 就(兼主)久保島泰 辞(主)松本希和 山崎 関西学院大学神学部 信夫 松山東雲中学•高校 大町 広尾 南遠 茨木 // 就(兼主)桑 辞(兼担)桑 辞(担)神谷 宣 辞(主)桑 満欣辞(主)桑 渚 辞(担)塚本佳奈辞(教)安藤昭良 辞(担)米山恭平 就(代)柳谷知之 就(主)米山恭平 辞(代)佐野英二 就(主)金井俊宏 辞(主)日下部勝



山形学院高校

辞(教)三ツ本武仁

隣人を愛することは教

須賀川

就(主)新井 秀辞(主)今野善郎

就(主)新井

//

杉本常雄氏(無任所教師)

津島日光川燈台 就(教)落合建仁辞(教)金 承哲

金城学院大学 鎌倉雪ノ下辞(担)落合建仁 辞(主)青野 辞(担)尹 成奎

えった有り様が、脳裡に焼き付い

が、日曜学校に子どもが溢れか

者が礼拝堂に並びきれなかった光

へ々を残しておかれたのだ。 受洗

主は今日のためにこそ、この

きの精鋭」としか言いようがない。 会を支え続けている人々。「選り抜

、。にもかかわらず、今もって教

後日、歳を重ねた彼らに溜息をつ

ょうな光景を彼らに見せたのか。 ている人々。

何のために主はその 市の雛型のような町だ。 に広がる、宮崎県都城市。地方都 新燃岳を擁する霧島連山の裾野

かせるためか。

否!

否

牧師は、エステルの養父モルデカ 員の大半を占める。 在70~80代前後の兄弟姉妹が教会 そのような教会で、孫のような 「皆さんが召し出されたのは、

よろしく言い続けている。 この時のためだったのです」。

50年代から60年代に受洗した、現 た、現代日本の教会の「雛型」の ような教会かもしれない。 戦後の その地に立つ私どもの教会もま

の」。顔色を伺わず敢えて申し上げ

足腰が弱っていませんか、信仰

ぬ時も、あなたのただ一つの慰め すから」。違う、私たちが聞きた 行くのですか。どうして礼拝し続 い。「問一生きている時も、死 仰問答書を引っ張りだしてくださ は、何ですか」。 ます。書棚の奥で埃をかぶった信 いのはそんな答えではありませ けているのですか。「長年の習慣で そもそも、あなたはなぜ教会に

マスカードに相応しい」。然り! 涙を流すシメオンの姿こそクリス けれど、幼き救い主をかき抱いて した。「幼子と母マリアの絵も良」

神を信じることを教えてくださ 襷(たすき)を受け取る私たちに この目に焼き付けておきたい! を捧げる、本物の信仰者の姿を、 りさせるほどの静かな気迫で礼拝 ちは、日本の教会は、あなたの姿 ことでしょうか。あなたの後輩を です。世代交代とは「ただ退く」 者の真髄を見たい。牧師を後ずさ ってください。主がお入り用なの に主の僕としての生き様を、信仰 日本の教会の宝である兄弟姉 主の精鋭よ、どうか立ち上が

でしょうか。

者も、既に召された者も少なくな 新燃岳噴火直後の日曜日。いつ

聞いたらどう思われる

た。しかしその後に教会を離れたかの時代、多くの受洗者があっ

教

主の召しに応えて 伝道のときしび

あなたの出番です

める聖餐の喜びはどこ

血潮」。義とされた罪人

信仰をもって噛みし

ストの体、あなたのため のために裂かれたキリ いったのです。「あなた

救いの喜びはどこへ

に流されたキリストの

都城城南教会牧師 山口 元気

続けてくださった主が あなたを今日まで守り から」。そんな言葉を、 私は信仰の弱い者です を聞きとりたい。「いや、 中に、そんな無言の雄弁 りなさい」-あなたの背 へいったのです。 「わたしに倣う者にな

のではありません。今こそ、あな たの出番です。 「あの頃」があなたの黄金時代な

めています。私たちと、主が一。 り続ける美しいあなたの姿を見つ 最後まで、誰よりも求道者であ

するかを協議し、修正の方

る事柄であろう。私もこれまで、

何が幸いなの

かというと、自分

会に出席し得た者として、どれだ

教団問安使として礼儀を尽くして 迎えて下さった諸教区に、教区総

目教区の総会に最後まで出席する

だけで、十分な疲労を覚えてきた。

それが、教団三役になると手分

の姿に主の僕としての生き様を垣 礼拝に参ずる兄弟姉妹。私は、そ 食わぬ顔で灰を掻き分け、黙々と

髄を見ます。ある老牧師は言いま シメオンの姿に、私は信仰者の真 幼子キリストを胸に抱く神殿の老 の迫力に、私は叱咤激励されます 拝した」と言われている老ヤコブ 間見ました。 杖の先に寄りかかって神を礼

日に開催された。

配布し、内容を確認しても 員会の全てに3月の初めに 設委員会、及び常設専門委 き、教規によるところの常 回委員会で第一次草案がで 礎理論」については、第7 業の委嘱を受けた「宣教基 らい、意見を集約する作業 に入った。また特設委員会 第5回常議員会で改訂作 とした。

である伝道方策検討委員会 に基づいてどのように修正 寄せられた。これらの意見 に3つの委員会から意見が には参考資料として渡し 今回の第8回委員会まで

るのでご確認願いたい。 する形で掲載する予定であ いて、そのごく一部を抜粋 (長谷川洋介報)

にもまして閑散とした通りを、

究所委員会が6月7日~8 第3%会期第8回宣教研 信 仰の手引き』再

の教団新任教師オリエンテ 会の負担とし、千部を作成 ので再版を行うことにし は在庫が少なくなってきた する。これを販売用や今後 た。費用は宣教研究所委員 『信仰の手引き』について 至ったかが分かるように対 のような修正に至ったか、 い意見があるので、全てを 認した。寄せられた意見に 針としては以下のことを確 またなぜそのような表現に とは難しい。意見に基づき 取り入れることや応えるこ は、互いに矛盾し両立しな 宣研で議論を行い、なぜそ

・ションにおける配布用と 応する。 末までに文書で意見を寄せ と意見の収集を行うことと 理論改訂に至る経過の説明 席をさせて貰い、宣教基礎 の委員が原則2人一組で陪 は、各委員会開催日に宣研 て貰うことも依頼すること ない6つの委員会について した。その際に改めて8月 まだ意見が寄せられてい

からだ。

が出来るのか、わからなかった に心を痛めていたが、自分に何 述わず決断した。被災地の報道

は、大きな一歩だった。地のボランティアになったこと

前3時間、午後3時間働いて、 雑草取り、仕事は限りない。午 壊しの手伝い、後片付け、畑の

は仙台市の教会内の1室、時

席して、

再び週報でボランテ った。翌週、2度目の礼拝に出

ノを呼び掛ける文章に接して**、**

も分からない北浦さんにとっ

京に転居したばかりで、西も東

て行く。瓦礫、汚泥、家の取り 郷には自転車で1時間ほど掛け

長年住み慣れた名古屋から東

て、礼拝に出席したこと、被災

若手リピー

ターの一人となっ

先は、仙台市七郷と石巻市。七

エマオ・センターからの派遣

そこで手にした週報に、

ノの1行を見出して釘付けとな

第26号を発行することとし た。この中で「改訂宣教基 また10月に「宣研だより

る。8月に2回、11月、12月、

1週間から時に2週間奉仕す

来た。被災地のボランティアを 行こうという気持ちが高まって いろの人と出会えて、外に出て になりがちだった。「教会でいろ

形で実った。

アとしての働きは、ごく自然な

から始まるという感じ」という

石巻は「まだまだ、やっと今

流さん。1年間のボランティ

して、自分でも社会に役立つこ

で、北浦さんは、通っていた小

今年4月のイースター礼拝

金井緑町教会で受洗した。

回かい、東北教区エマオ・セン

くれた車で6時間掛けて仙台に

8月、西東京教区の用意して

んでいたが、

内省的で、内向き

聖書は、家で17歳の時から読

に礼拝堂で就寝する。

ダーのボランティアとなった。

今年3月とこれまで5回通い、

10代から70代と幅広いエマオの

るようになっ とをすること

միներ մի た」と北浦さんは が出来ると、思え

礎理論」の第一次草案につ

(有料駐車場有り) ◎問合せ 深山祐(℡042-323-1751) 日本基督教団教誨師会主催

> 恐怖であった。否、勝手に、負担 ことになる。正直、これが一番の けして4つ5つの教区総会に伺う

になると思い込み恐れていたので

国立オリンピック記念青年総 合センター センター棟 409

教誨師会公開講演会ご案内

入場無料

池田香代子先生

7月30日(月)

19 時~ 20 時 30 分

◎日時

我ながら驚きを覚えている。この

全く別の感慨が湧いてきたことに

ところが実際に伺ってみると、

「地球が100人の村だったら あなたもそこに生きている」

第8回宣教研究所委員 版 会

教会の門を潜った。 昨年7月、初めて家の近くの

圭祐さん 北浦

エマオのボランティア



1991年、 愛知県生まれ。 小金 井緑町教会員。

の教区総会は精神的にも体力的に 何れの教区においても、年一度

も、多くのエネルギーを必要とす たのである。 とに幸いな体験と思うようになっ 体験をむしろ得がたい体験、まこう。あとは、このような者をも、

問安を

を担いつつ、どのように諸教会が

り、問安使ならではの体験であろ を知ることが出来るからである。 伝道し、苦悩し してその一年を歩んでこられたか これはまさに三役の特権であ

の知らない地で 、また喜びを共に 終えて その地域の課題 け公私共にお応えしていけるかが 精一杯の努力をさせていただきた 問われていると思う。微力ながら、 同時に、今回も問安を受け入れ

とを、痛みをもって覚えたい。 ていただけなかった教区があるこ 会議制で政治を行う教団の、教

区総会は対話の原点であるからで

(教団総会副議長 岡本知之)